

STOP！コロナ差別 宇美町宣言

～今こそ、宇美町 38,000 人の思いやり～

「新型肺炎 国内初の患者」などとメディアで報じられたのは、令和 2 年 1 月 16 日のことでした。1 年 6 ヶ月以上経過した現在も新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しが見えません。令和 3 年 2 月から医療従事者や高齢者をはじめとする新型コロナワクチン接種が始まりましたが、感染の予防に努めても、この感染症を完全に防ぐことは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者になる可能性があります。

一方で、感染された方や医療従事者・エッセンシャルワーカー（人々の生活を支えるために必要不可欠な仕事に従事する方）とその家族、体質や持病等の身体的理由を含め、様々な理由によりワクチンを接種していない方などに対する差別や偏見、誹謗中傷、SNS への心ない書込みなどの状況が後を絶ちません。

いかなる場合であっても、人権を侵害し、大切な命、暮らしや仕事を脅かす行為は決して許されるものではありません。今、みんなが不安に包まれやすくなっています。そんな時だからこそ、自分の言葉や行動が差別につながっていないか、「誰か」のことではなく「自分のこと」として考えることが大切です。

宇美町議会は、「新型コロナウイルス感染症に関連した差別は決して許さない」との強い決意のもと、今後も町民一人一人の人権が尊重され、偏見や差別のない心豊かな、やさしさあふれるまちづくりを進めることを、ここに宣言します。

STOP！コロナ差別 宇美町宣言

1. 私たちは、感染者とその家族、ワクチンを接種していない方などへの差別や偏見のない宇美町をめざします。
1. 私たちは、医療従事者やエッセンシャルワーカーとその家族への差別や偏見のない宇美町をめざします。
1. 私たちは、思い込み、過剰な反応による差別や偏見のない宇美町をめざします。

令和 3 年 9 月 17 日

宇美町議会